

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

Rotary 



2017～2018年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立 : 1963年3月22日	会 幹 事	長 高橋 秀樹	第2521例会	2017/ 7/10
例会場 : パレスホテル大宮	公 共	長 染谷 義一	発 行 日	2017/ 7/24
例会日 : 月曜日12:30～13:30	向 上 委 員 長	石 丸 主 憲	週 報 当 番	石 丸 主 憲

会長あいさつ

会長 高橋 秀樹

皆さんこんにちは。本日は、第4Gの岩槻RC小林会長、出山幹事、大宮北RCの嶋村会長、高橋幹事、大宮北東RCの小暮会長、長谷川幹事の皆様にお越しいただきまして本当にありがとうございます。又先週の初例会で5名の方に入会いただき、本日大宮駅長の多胡さんのご入会で会員数は114名となりました。紹介者の清水会員、渋谷会員、竹内会員、柴木会員、そして新藤信夫会員に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



さて、これから一年間何を話そうかと色々考えてみました。私はまだまだロータリーのことを解っていませんし、また会員の4割の方が3年未満の方ということでもありますので、私が勉強したことをこの場で話すことでお互いに理解が進んでいけたら良いなと思いました。これから毎回ロータリーについて何かを話したいと思います。私も毎週テーマを決めて勉強して話さなければならないのは大変なのですが、一年間の修行だと思って頑張りたいと思います。つきましては、このことについて話したらどうか、このことについて教えて欲しいと要望をいただけると非常に助かります。遠慮なく仰っていただきますようよろしくお願いいたします。

第1回 「点鐘について」

さて、1回目、今日のテーマです。例会の開始と終了に点鐘しますが、何故「点鐘するのか」について調べてみました。

日本では、点鐘で始まり点鐘で終わる。これは例会だけでなく、地区研修協議会・地区大会・IM等ロータリーの会合は全て同じです。外国では点鐘の

代わりに”Call to Order”つまり「お静かに願います」の発言があって例会が始まるか、あるいは発言に続いてお祈りをした後に例会に入るというケースが多いようです。鐘を鳴らす場合は、食事が済んで幹事報告やスピーチが始まる前に鳴らすのが一般的で、木の板を木槌でコンコンと叩くこともあるようです。これは法廷やオークションを想像していただければ判り易いと思います。「静かにするように」とか「私語をしないで」と注意を喚起する為に使われるそうです。

では、この点鐘はいつどこで始まったのかは判りませんが、1920年頃東京クラブが使ったのが始まりで、あとは右に倣えとなったのではとされているようです。その時代、日本人は大体小学校以来鐘の音で行動することに慣らされているので、ロータリーでもケジメをつける意味で使われたのではないかと思います。点鐘は英語ではShips bellと訳され、もともとは大航海時代に時間を知らせる為に30分おきに鳴らしていた鐘、いわゆる時報だったようです。点鐘はただの時報ではなく、最初に鳴ったら「開始時間がきた。静かにして人の話しを聞こう」との思いでスタートし、次に鳴ったら「終了時間がきた」ということで終わるといのが本来の姿かもしれません。ただし、例会が終わった時に点鐘するのではなく、時報ですから、時間を守って点鐘して閉会しなければならないと思います。これからは時間をキッチリ守って例会運営を行いたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。本日のメインプログラムは部門別委員会方針発表です。各部門委員長及び委員長の皆さんよろしくお願いいたします。それと大事な報告がございます。例会前に吉田暎治米山記念奨学委員長より特別寄付金を10万円いただきました。吉田会員本当にありがとうございました。

ロータリー家族とともに行動し ともに感動する
(55周年 全員で前進する — 全・進 —)

事務局 : さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail : info@rc-omiya-west.com HP : http://rc-omiya-west.com/



お客様ご紹介 田口修身 副会長

岩槻ロータリークラブ 会長 小林 利郎 様
幹事 出山 知宏 様
大宮北ロータリクラブ 会長 嶋村 俊幸 様
幹事 高橋 敬 様
大宮北東ロータリークラブ会長 小暮 昭宏 様
幹事 長谷川秀明 様
※米山記念奨学生 シャキヤ・スラクシャさん



写真左から染谷義一幹事、岩槻RC出山知宏幹事様、小林利郎会長様、大宮北東RC長谷川秀明幹事様、小暮昭宏会長様、大宮北RC高橋 敬幹事様、嶋村俊幸会長様、高橋秀樹会長

お客様ご挨拶

岩槻ロータリークラブ
会長 小林利郎 様



大宮北ロータリクラブ
会長 嶋村俊幸 様



大宮北東ロータリークラブ
会長 小暮昭宏 様



入会式

《紹介者より入会者をご紹介》

多胡 彰様ご紹介
代理 渋谷廣慶会員(新藤信夫会員)



多胡 彰様をご紹介ですが、新藤信夫会員の代わりに致します。年齢は、昭和43年9月生れの57歳です。東日本旅客鉄道(株)大宮駅の駅長で中牟田会員の後任でいらっしゃいます。事業内容は鉄道業です。お住まいは西東京市下保谷と云う事です。詳しいことは後程ご本人からご紹介をお願い致します。どうぞ皆様宜しくお願い致します。

《入会者ご挨拶》

東日本旅客鉄道(株)大宮駅
駅長 多胡 彰 様



皆様改めましてこんにちは。只今ご紹介頂きました東日本旅客鉄道(株)大宮駅駅長の多胡と申します。宜しくお願い致します。

先月6月23日付で大宮駅長を拝命致しました。この度高橋会長、染谷幹事、ご紹介頂きました渋谷様、皆様方のご高配を賜りまして晴れてこの大宮西ロータリークラブの会員になる事が出来ました。本当にありがとうございました。

若干自己紹介をさせていただきますと私は日本国有鉄道最後の入社で、昭和57年に入社致し、初めて配属されました駅が実は大宮駅でした。その後各地を転々として来ましたが、弊社平成13年大宮支社を立ち上げる時に立ち上げにたずさわらせて頂きました。それからまた転々とし、今回大宮駅長として戻って来ることが出来ました。

今年JR東日本では国鉄民営化して30年が経ちます。国鉄を脱しJR東日本としてスターとしましてからは、お客様第一、それから地域密着、と言う事を骨身にしみ込ませて今日までやって参りました。これからもやっていきたいと思ひますし、今日以降、大宮西ロータリークラブの皆様と結束をしてより良い大宮を創り上げていければと決意しておりますので、どうぞ皆様宜しくお願い致します。本日は誠にありがとうございます。



左から
染谷義一幹事、
多胡 彰新会員、
高橋秀樹会長

幹事報告

幹事 染谷義一



- 岩槻ロータリークラブ 小林会長、出山幹事、大宮北ロータリークラブ 嶋村会長、高橋幹事、大宮北東ロータリークラブ 小暮会長、長谷川幹事、ようこそいらっしゃいました。
- 7/3理事会で決議されましたことを、今日配布致しました週報最後のページに『理事会決議事項』として掲載致しました。
- 次回7/17は法定休日『海の日』です。例会はございませんのでご注意ください。
- 7/24例会では委員長方針発表がありますので、発表されます委員長は年度計画書をお持ち下さいますようお願い致します。

委員長報告

職業奉仕委員会
山崎一祥 委員長



前年度よりご案内しております、クラブ名刺作成の件ですが、デザインの校正されたものを皆様のお手元にお届け致しました。

万全の体制で行いましたが、いかんせん会員数が多いものですから、データ漏れがある可能性もございます。

会員皆様 各自で、最終の校正として誤字・脱字の確認をして頂けたら幸いです。特にローマ字表記の確認を注意して頂けたら大変助かります。

データ内容について、修正・変更が必要な方は事務局または私、山崎迄 ご連絡頂ください。

7月31日の月曜日まで受け付けております。

何卒、ご協力の程、宜しくお願い致します。

ロータリーの友

公共イメージ向上委員会

石丸主憲 委員長



横書

冒頭3ページ、今年度新たな友編集目標について今年度のロータリーの友についての変更点が記載されております。

1. 表紙の変更
 2. 「New Generation」の連載開始
 3. 「私の1冊」の連載開始
 4. 「声」の開始
 5. クラブを訪ねての継続
- 7～19ページ、RI会長メッセージ

ロータリー活動を通じて私たちは世界中に「変化をもたらす」ています。活動を通じてどのような変化をもたらすかは、クラブとロータリアン一人一人の行動によって決まっていくことですが、組織としては、「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」、「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」という3つの戦略的優先項目を指針として定め、行動していきたいと考えています。

2017-18年度RIテーマを「ロータリー：変化をもたらす」としております。変化をもたらすということについて、「ロータリーとは何か?」という問いで考察してみると、「どのような団体か」という視点では明確ですが、「何をしているか」という視点で考えるとロータリーがあまりにも大きく複雑なため簡単には説明が難しい。すなわちロータリーとは「何をしているか」で定義されるべきで、ロータリーが私たちに与えてくれる可能性、そしてその可能性を有意義かつ持続可能な奉仕によって、また一人一人が地域社会と世界に変化を生み出したという願いを持って、それをロータリー活動を通じて実現できる人が集まった組織であるということです。私たちは変化をもたらすことができることを行動によって示さなければなりません。

縦書

4ページ、減塩と健康寿命について

塩分は私たちの体にとってなくてはならないものであるが、取り過ぎると健康に悪影響を及ぼすものです。具体的には、塩分を摂取しすぎると体が水分を求め、水分を摂取しすぎると血液量の増加によって

血圧の上昇、心臓への負担増となり、胃液の量が増えることから胃がんの原因にもなりうるものです。つまり「塩分の過剰摂取は万病のもと」なのです。よって高血圧の人には当然減塩をすることを勧めます。そしてさらに一般の方にも減塩を呼びかける「ポピュレーションアプローチ」も重要だとしております。それを国や、地域全体で取り組むことが重要であり、結果としてこれからの国や地域社会に必要となる事項であることをイギリスや長野県、新潟県等の具体例を示して記載してあります。

9ページ、クラブを訪ねて

昨年4月の熊本地震で震源でもある益城町を拠点とした熊本りんどうロータリークラブのことが記載してあります。地震の時のボランティア活動について、そしてその中での創立10周年の記念式典開催によって会員の結束、地域の盛り上げに繋がった話が記載されております。

20ページの歌壇に我が大宮西の川鍋会員の作品が掲載されております。また、34ページのロータリーアットワーク欄には蓮田ロータリークラブの移動例会合同研修会のことが記載されておりました。

部門別委員会方針発表

■クラブ研修リーダー

木本栄一



■長期計画委員会委員長

内山泰成



■クラブ管理運営部門委員会委員長

新井清太



・プログラム委員会委員長

藤池誠治



・親睦委員会委員長

井上勝美



・出席委員会委員長

大竹庄藏



■クラブ研修部門委員会委員長

木本栄一



・会員研修委員会委員長

小島 徹



■公共イメージ部門委員会委員長
小木曾賢己



・公共イメージ向上委員会委員長
石丸主憲



ロータリーの友(歌壇)掲載

川鍋一夫会員よりご紹介して頂きました。

